

第3回 方言漢字サミット

— 文字から地域の文化を考えよう! —

話し言葉に方言があるように、書き言葉にも方言が存在することはあまり意識されません。文字、ことに漢字においても地域による差があり、「地域漢字」や「地域音訓」が実在しますが、ほとんど気付かれないようです。

例えば、茨城県に多い「坏」(あくつ)、広島・山口県にある「埵」(たお)、宮城県の「閑」(ゆり)などです。そして、八潮市の「垢」(がけ)も同様です。方言漢字は、方言学界でも注目されるようになり、漢検の漢字ミュージアムで常設展示となり、NHKの人気番組「日本人のおなまえっ!」でも繰り返し取り上げられています。

ところが、方言漢字の宝庫である地名は、市町村合併や区画整理を理由に急速に消えつつあります。八潮市の「垢」についても、その7割にあたる区域で区画整理事業が進行し、2年後には工事完了する予定であり、地名が存続するか不透明です。

そこで、珍しい漢字を使う地域とそこに暮らす人々の生活、風土について一緒に考える機会として、史上初の方言漢字をテーマにすえた会を設けます。当イベントは3回目を迎え、内容は拡がりを見せ、参加者は全国規模です。個性溢れる漢字について考え、文字を創り出し、受け継いで郷土の人々やそれを支える文化、生活、歴史や自然についても学びます。

関心のある方は、どうぞ奮ってご参加ください。この機会に、一緒に考えてみませんか?

・日時: 令和元年11月17日(日) 14:00~16:30 (受付開始 13:45)

・場所: 八潮メセナ・アネックス (八潮市民文化会館 駅前分館)

・内容: (演題は全て仮題)

1) 基調講演「方言漢字の定義と展望」

笹原 宏之 (早稲田大学 教授)

2) 講演「神戸市須磨区の地名表記に見る方言漢字について」

岡崎 裕剛 (神戸女子大学 准教授)

3) 報告「地名における字の転訛? 予備調査編 —大鳥居と「大鳥原」説から—」

大居 司 (会社員/滋賀県大津市在住)

4) 報告「企業のロゴや商業登記からの調査報告」

萩原 匡祐 (会社員/千葉県浦安市在住)

5) 報告「草加せんべい —地域に見られる『べ』の異体字—」

昼間 良次 (八潮の地名から学ぶ会)

6) 質疑応答&意見交換、総括、お楽しみ抽選会、その他

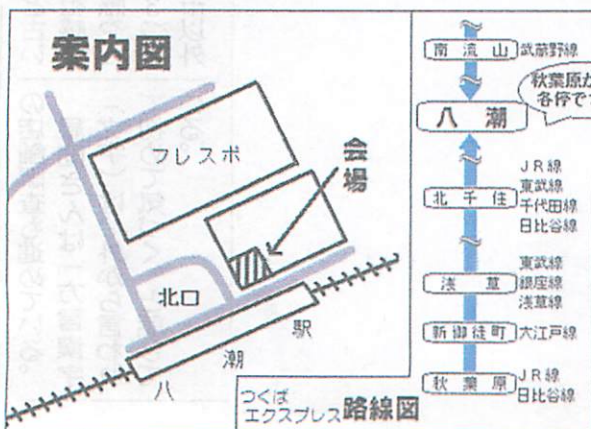
・参加費: なし(入場自由) ◎カンパ制(会場費、資料代 他)

・交通: 駐車スペースがありませんので、公共交通機関をご利用ください。

[経路]つくばエクスプレス八潮駅北口出ですぐ(八潮市役所駅前出張所と同じ建物です)

東武線草加駅、東京メトロ綾瀬駅、JR常磐線亀有駅・金町駅および松戸駅から路線バスで終点

◎「八潮市 協働のまちづくり推進事業助成金」を受けて実施しています。



・主催: 八潮の地名から学ぶ会

・後援: (一財) 日本地図センター
草加せんべい振興協議会

(問い合わせ先)

八潮の地名から学ぶ会

携帯電話: 090-4389-4895

FAX: 048-998-4451

E-mail: gake840@yahoo.co.jp

(3) 2019年(令和元年)6月11日(火曜日)

「草加せんべい」に方言漢字

八潮・「べい」の文字の調査で
屋間さん



「草加せんべい」の文字を調べる屋間さん

「方言のよつこ」漢字」にも特定の地域文化を象徴する「方言漢字(文字)」がある。方言漢字研究家の獨協大学職員、屋間良次さん(45)(八潮市中央)はこのほど「草加せんべい」の看板の漢字に、「せん遍

以」など単体では読めないような漢字が使われていることに気づき、「方言漢字の一つ」とみて、調査結果を11月17日に八潮市で開催する「第3回方言漢字サミット」で発表する。屋間さんは通勤途中、草

加市神明町交差点(県道49号線)で、草加せんべいの「志免屋」の屋根上の文字看板と立て看板に目を奪われ、草加せんべいの「べい」の文字が、単体だと読めないことに気づいた。さらに、写真のように、屋根上の文字看板と立て看板の文字が異なっていることを知った。

屋間さんは、同市内の店舗や県外の、南部せんべいなどの包装紙や包み紙を収集。店員に話を聞くなどした結果、こうした文字は同じ店舗でも商品によって使われなかったり、比較的値段が高い商品に使われる傾向にあることが見えてきた。

早稲田大学・日本語学専攻の笹原宏之教授は、特に多い「せん遍以」は平仮名の変体仮名(異体仮名)で、通常の仮名と同じく漢字由来とし、「厳密に言う」と変体仮名は『方言漢字』とは言えないが、使用量や使用分布を考えると『方言文字』として位置付けうる」との見解を示したという。

屋間さんは、①方言文字

は、②異字体など古い文字を使うことで元祖感や本場感を表す③高級感や店舗の推奨商品——の3つの仮説を立てて、草加市以外

の店舗調査を進めている。屋間さんは「方言漢字(文字)は、外から言われて初めて気づく」と話している。

(共社合小問)
 会誌学各各の版八
 2024-0801-090 読者部
 048-987-4451 FAX
 E-mail: kyo@yomiuri.co.jp